

令和3年度観光振興事業功労者表彰について

公益社団法人日本観光振興協会（本部：東京都港区 会長 山西健一郎）は、以下の13名の方々を令和3年度観光振興事業功労者として表彰します。なお、例年6月の当協会通常総会において表彰式を実施して参りましたが、本年は昨年引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、受賞者の皆様の安全を考慮した結果、表彰状と記念品の発送をもって表彰式に代えさせていただくことといたしました。

- 北海道 さとう きくえ
佐藤 喜久恵 氏（77歳） 函館観光ボランティア一會の会 会長
- 東北 いそだ ゆうこ
磯田 悠子 氏（73歳） みやぎおかみ会 理事
- 関東 あらい しゅんいち
新井 俊一 氏（72歳） 公益社団法人栃木県観光物産協会 会長
さわ いさお
澤 功 氏（84歳） 旅館澤の屋 経営者
ないとう のぶひろ
内藤 信寛 氏（81歳） 一般社団法人柏崎観光協会 元会長
- 中部 ひび よしお
日比 嘉男 氏（77歳） 豊川市観光協会 会長
- 関西 きど くにたか
木戸 邦考 氏（73歳） 一般社団法人亀岡市観光協会 副会長
さかぐち くにつぐ
坂口 邦嗣 氏（70歳） 公益社団法人和歌山県観光連盟 副会長
- 中国 しばの きよし
柴野 清 氏（66歳） 有限会社皆生菊萬 代表取締役
皆生温泉旅館組合 組合長
- 四国 みやむら こうじ
宮村 耕資 氏（66歳） 有限会社ホテル南水 代表取締役社長
高知県旅館ホテル生活衛生同業組合 副理事長
- 九州 ありむら たかのり
有村 隆徳 氏（80歳） 株式会社鮎里ホテル 代表取締役会長
さとう たかあき
佐藤 哲章 氏（72歳） 一般社団法人高千穂町観光協会 顧問
- 沖縄 ひらた ひさお
平田 久雄 氏（70歳） 沖縄・台湾交流振興会 会長

※略歴・功績等は、別紙を参照ください。

【北海道支部】



さとう きくえ 平成 6 年～ 函館観光ボランティア一會の会 会長
平成 13～令和元年 北海道観光ボランティア連絡協議会 副会長
令和元年～ " 理事

佐藤 喜久恵 (77 歳)

功績概要

昭和 63 年 6 月に「函館観光ボランティア一會の会」を結成し、その後、平成 6 年に会長に就任し現在に至るまで長きにわたり函館の観光ボランティアガイドとして会員のレベルアップに努めるとともに、各種イベントにも積極的に参加し、観光関係者から高い信頼を得ている。平成 26 年 3 月の北海道新幹線開業の際には、臨時的観光案内所を設置し、親切丁寧な対応と心温まる案内は他の観光ガイドの模範として、観光都市函館のイメージアップに大きく貢献している。また、観光ガイドに係わる研修会や小中高校の授業などに講師として講演を行い、後進育成に務め北海道の観光ホスピタリティの向上に大きく貢献している。

【東北支部】



いそだ ゆうこ 平成 7～27 年 みやぎおかみ会 会長
平成 27 年～ " 理事
磯田 悠子 (73 歳) 平成 15 年～ 松島旅館組合 副組合長
平成 26～令和元年 公益社団法人宮城県観光連盟 理事

磯田 悠子 (73 歳)

功績概要

県内のホテル・旅館の女将等で構成する「みやぎおかみ会」の会長として就任以来、全国各地からの観光客誘致に向けた取組を積極的に推進してきた。官民一体となった取組の誘客宣伝キャラバンへの参加や、各観光地の女将が連携した「おもてなしの駅弁」の考案などをはじめとする各種の取組は、観光客の誘致、観光地の活性化及び地域振興など、観光振興に貢献している。また、東日本大震災後は、元気な姿をいち早く全国に発信する活動を行ったほか、震災翌年に仙台を会場に開催した全国おかみサミットにおいては地元代表として成功に導くなど、陣頭に立ち観光復興に向けて積極的に取組んでいる。これらは、各地域や民間をまとめる磯田氏の強いリーダーシップ等によるものが大であり、おかみ会の活動のみならず県内観光界のけん引役にもなっておりその功績は顕著である。

【関東支部】



あらい しゅんいち 平成 16～25 年 社団法人日光観光協会 会長
平成 25～27 年 一般社団法人日光市観光協会 会長
新井 俊一 (72 歳) 平成 27 年～ " 相談役
平成 24 年～ 公益社団法人栃木県観光物産協会 会長

新井 俊一 (72 歳)

功績概要

一般社団法人日光市観光協会会長、公益社団法人栃木県観光物産協会会長等の要職を歴任し、栃木県の観光振興、地域経済の活性化に尽力した。特に、新日光市設立に伴う 4 地区観光協会の合併に向け、強いリーダーシップを発揮して日光市観光協会を設立した功績は、当該地域に新たな歴史を刻む偉業である。さらに栃木県における観光・物産振興のため、デスティネーションキャンペーンを成功に導くとともに、関西圏や海外等からの誘客に積極的に取り組むなど、栃木県の観光産業の発展に大きく貢献した。

【関東支部】



さわ いさお 昭和 40～46 年 旅館澤の屋
昭和 46 年～ " 経営者
澤 功 (84 歳) 平成 15 年～ 観光庁「観光カリスマ(下町の外国人おもてなしカリスマ)」に認定
平成 21 年～ 観光庁「YOKOSO! JAPAN 大使(現 VISIT JAPAN 大使)」

澤 功 (84 歳)

功績概要

東京谷中の旅館澤の屋の館主として、1982 年より外国人観光客の受け入れにいち早く着手され、我が国インバウンドにおける先駆者として活躍。日本人固有のおもてなしの概念を広く世界に知らしめる端緒となった。全国各地で観光カリスマとして講演を行い「外国人おもてなしの秘訣」の普及活動を行うなど、東京都内に留まらず広く観光業界に寄与する活動を続けてきた。コロナ禍においても地域と連携しながら日帰り入浴やテレワーク利用客を取りこむなど、たえず進化と工夫を行っている。

【関東支部】



ないとう のぶひろ 平成 17～26 年 一般社団法人柏崎観光協会 会長
平成 19～26 年 柏崎地域観光復興推進協議会 会長
内藤 信寛 (81 歳)

内藤 信寛 (81 歳)

功績概要

永年にわたり、柏崎観光協会会長として手腕を発揮され、中越地震、中越沖地震と二度にわたり被災した際も、地域が一体となって取り組む「柏崎地域観光復興推進協議会」の立ち上げに取組まれた。その後も「柏崎鯛茶漬」など「食」で地域をアピールし、大きな成果を上げた。さらにグアム州の「恋人岬」と提携を結ぶなど、インバウンド振興にも尽力し、その優れた見識と、強いリーダーシップで柏崎地域観光の発展に大きく寄与された。

【中部支部】



ひび よしお 平成 12～14 年 豊川市観光協会 理事
平成 14～22 年 " 常任理事
日比 嘉男 (77 歳) 平成 22 年～ " 会長

日比 嘉男 (77 歳)

功績概要

豊川市観光協会理事、常任理事、会長を歴任し、組織体制の強化や広域連携の取り組みを推進するとともに、映像やマスコミ等を活用した情報発信に尽力した。また、豊川稲荷の門前町で古くから販売されてきた「いなり寿司」を、ご当地グルメ「豊川いなり寿司」としてブランド化を進め、市・商工会議所・JA・事業者と一体となって知名度の向上と地域活性化に努めるとともに、「ご当地グルメでまちおこしの祭典 B-1 グランプリ」を豊川に誘致し、実行委員会副会長として、豊川市のみならず、東三河や愛知県を全国に発信し、大会の成功に大きく貢献するなど、新たな事業の取り組みや豊川市の観光振興に中心的役割を果たした。

【関西支部】



きど くにたか 平成 9～25 年 亀岡市観光協会 理事
平成 25 年～ " 副会長
木戸 邦考 (73 歳) 平成 9 年～ 亀岡光秀まつり実行委員

功績概要

亀岡市観光協会の理事、副会長などの要職を歴任し、将来の経済発展を支える地域の基盤づくりや、新たな観光資源の発掘、新事業の企画立案等に尽力された。明智光秀公ゆかりの谷性寺で開園されている「丹波かめおか光秀物語 ききょうの里」や、令和元年度で開園 20 周年目を迎えた「京都丹波/亀岡『夢コスモス園』」においては構想・企画段階から事業に携わり、亀岡市の観光振興に大きく寄与した。「京都丹波/亀岡『夢コスモス園』」では現在、実行委員会の委員長として事業に携わり、亀岡市のにぎわい創出に大きく貢献している。

【関西支部】



さかぐち くにつぐ 平成 22～令和元年 公益社団法人和歌山県観光連盟 理事
令和元年～ " 副会長
坂口 邦嗣 (70 歳) 平成 22～令和元年 一般社団法人和歌山市観光協会 副会長
平成 22～ 和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長

功績概要

関西を代表する歴史と景勝の地、和歌の浦で永年にわたり宿泊業を経営。その豊富な経験と優れた指導力を活かし、和歌山県旅館生活衛生同業組合の理事長として県内宿泊業の活性化と組織の発展に多大な貢献をした。また、一般社団法人和歌山市観光協会の理事、副会長を務め、地元漁港を活用した朝市の開催、伝統的な祭り「和歌祭り」の復興など、地元関係者と一体となり、その魅力を磨き上げ発信し、地域活性化に尽力した。さらに、公益社団法人和歌山県観光連盟の副理事長として、本県全域への観光客誘致に精力的に取り組むなど、和歌山県の観光振興に大きく寄与した。

【中国支部】



しばの きよし 平成 12 年～ 有限会社皆生菊萬設立 代表取締役
平成 27 年～ 皆生温泉旅館組合 組合長
柴野 清 (66 歳) 平成 29 年～ 米子市観光協会 副会長
令和元年～ 公益社団法人鳥取県観光連盟 副会長

功績概要

山陰有数の温泉地「皆生温泉」において、皆生菊萬を創業し、心のこもったおもてなしや地元食材による料理の提供などにより、観光客の誘致や地域の魅力向上に大きな成果を上げている。また、皆生温泉旅館組合の組合長として、皆生温泉町づくり将来構想に中心となって取り組んだほか、米子市観光協会の副会長として、サイクル・ツーリズム等の拠点化事業を企画する等地域の観光振興に貢献している。さらに、鳥取県観光連盟の副会長として、会員本意の事業運営について、会長の補佐役としての確かな職務遂行に尽力した。

【四国支部】



みやむら こうじ 平成 11 年～ 有限会社ホテル南水 代表取締役社長
平成 17 年～ 高知県旅館ホテル生活衛生同業組合 副理事長
宮村 耕資 (66 歳) 平成 19～27 年 公益財団法人高知県観光コンベンション協会 副会長
平成 24～令和 2 年 一般社団法人日本旅館協会四国支部連合会 副会長

功績概要

(有)ホテル南水代表取締役社長として、幕末の志士龍馬の生誕地にある「龍馬の宿」の経営確立を図り、会社の発展に尽力するとともに、日本観光旅館連盟高知県支部長、高知県旅館ホテル生活衛生同業組合副理事長、高知市旅館ホテル協同組合理事長等の要職を歴任し、組合員相互の連携を密にして事業運営並びに組合員の指導育成、生活衛生の整備、宿泊施設の整備向上に尽力し、観光業界の発展に大きく尽力した。また、長年に亘り(公財)高知県観光コンベンション協会副会長等として、協会の発展に寄与されるとともに、「土佐・龍馬であい博」等の観光博覧会の開催にあたり、博覧会の推進協議会委員、運営委員長等として観光客誘致の牽引役を果たすなど、高知県の観光振興に多大な貢献をした。

【九州支部】



ありむら たかのり 昭和 40～46 年 株式会社社里ホテル入社
平成 28 年～ " 代表取締役会長
有村 隆徳 (80 歳) 平成 23 年～ 現熊本県旅館ホテル生活衛生同業組合 副理事長
平成 23 年～ 人吉商工会議所 副会頭

功績概要

人吉温泉で昭和 40 年から、長年にわたり旅館経営に携わってこられた。昭和 52 年から、熊本県旅館ホテル生活衛生同業組合の副理事長等を歴任し、人吉地域の旅館ホテルの設備近代等に尽力したほか組合員の指導や育成に貢献された。また、平成 10 年から人吉商工会議所副会頭を務め、日本民謡協会の九州大会や乗り物文化イベントなどを開催、県内外から多数の誘客に成功し、交流行事・宿泊・物品販売などを通じて地域産業の振興活性化に大きな役割を果たされた。令和 2 年豪雨災害での水害で大きな被害を受けた人吉球磨地域を、さらに魅力的な温泉地に復興すべく、日々努力を重ねておられる。

【九州支部】



さとう たかあき 昭和 60～平成 21 年 高千穂町観光協会 理事
平成 21～令和元年 一般社団法人高千穂町観光協会 会長
佐藤 哲章 (72 歳) 令和元年～ " 顧問
平成 24～令和元年 現公益財団法人宮崎県観光協会 評議員

功績概要

長年に亘り高千穂町観光協会の会長等として、卓越した指導力で日本神話ゆかりのスポットや高千穂峡、夜神楽等の観光資源を十分に活かしながら様々な事業に積極的に関与された。これらの取り組みにより、国内のみならずインバウンド客も増加し、高千穂町は、年間 140 万人を超える観光客が訪れる「宮崎県・九州を代表する観光地」となるなど、高千穂町や宮崎県の観光振興に大きく貢献された。また、高千穂町観光協会が平成 29 年 11 月に宮崎県初の「地域 DMO 法人」として登録されるに至っては、幅広い人脈と豊富な経験をもとに、責任者として多様な関係者と連携しながら取り組むなど、大きく貢献されておられる。

【沖縄支部】



ひらた ひさお

平田 久雄 (70歳)

平成9年～

平成18年～

平成20年～

平成22年～

沖縄地球を走る会 会長(現顧問)

沖縄県ランナーズクラブ連合会副会長

沖縄・台湾交流振興会設立会長

台湾高雄国際マラソン 副会長

功績概要

沖縄・台湾交流振興会会長、沖縄地球を走る会の顧問を務める中で、台湾とのマラソン、ゴルフ、文化交流を通じた観光交流を継続的に行っている。国内最大級の規模を誇る一大スポーツイベントとなったNAHAマラソンを通じて2001年から沖縄と台湾との民間国際交流を開始し、これまでに約5,000名のランナーや応援団を誘致、受入している。また、台湾で開催される「金石国際マラソン」、「高雄国際マラソン」へも沖縄からランナーを送るなど、スポーツイベントを通じた沖縄・台湾の相互の国際民間交流を積極的に推進し、スポーツアイランド沖縄の認知度拡大に貢献し、スポーツを通じた観光振興に尽力している。